



エーイーディー
AED研修

AED（自動体外式除細動器）は、突然心停止の状態になった心臓に電氣的なショックを与えて、正常な拍動に戻すための医療機器です。アウルコートでは施設開設時からAEDを備え、2010年からは玄関先にAEDステッカーを表示し、外部の方にもご利用いただけるようにしています。



AEDの使い方については毎年外部講師を招いて練習していましたが、コロナ禍で休止。新しい職員が増えたこともあり、防災管理者を務める職員が講師となって、11月にAED研修を行いました。密を避けたビデオ主体の座学を、多くの職員が参加できるよう3回に分けて実施。取扱方法はもちろん、収納ケースを開けた時に鳴るブザーの大音量など体験しなければわからないことも学べ、職員からは「役立った」との評価がありました。



▲大運動会で激励中のリリコ

スタッフ リレーエッセー

ほめ言葉シャワー

ある日、小学5年生の息子が「今日学校でほめ言葉シャワーを浴びてきた!」と嬉しそうに話をしてきました。初めて聞く言葉にびっくりする私に息子は、日替わりで一人のクラスメートの良い所をクラス全員から、それぞれシャワーのように浴びせるものだと言ってくれました。自分に自信がもてたり、相手の良い所を意識できたり、お互いを認め合えるといった効果があるようです。今では小学校以外の教育や子育ての場面でも活用されているそうです。



看護師 三本松 弥生

アウルコートでは毎日、スタッフの素敵な声かけや関わりに刺激を受けたり、入居者様の優しい笑顔や声かけに感激しています。まさにほめ言葉シャワーのように、伝え合える出来事がたくさんあることに気が付きました。これからもほめ言葉のシャワーで認め合い、アウルコートを笑顔でいっぱいしていきたいと思っています。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その58
2022年1月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



2021年を振り返り、今年を思います 代表取締役 武田 治信

輝かしい新年を迎え、令和4年になりました。干支では壬寅(みずのえ・とら)です。一年の速さに追いつけない危うさを感じるこの頃ですが、去年を少し振り返りながら新しい年に思いを託したいと思います。

去年は年始早々からコロナウイルスの緊急事態宣言が発令され、その後も解除されたり発令されたりとの繰り返しが続き、もはや有事が私たちの日常になっていた感じがします。賛否の声が吹き荒れる中、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、終了時には21都道府県で緊急事態宣言が出される事態となりました。その後、宣言は全都道府県で解除され、コロナ対策と経済立て直しを2大論点にした衆院選に突入しました。政治の筋書きに私たちの生活が巻き込まれているのではないかと危機感を覚えました。

寅年の過去を振り返ると、変化の多い年のようにです。2010年は鳩山内閣が退陣し菅内閣になりました。アメリカ中間選挙では民主党オバマ政権の大敗、北朝鮮では金正恩氏の後継者デビューが記憶の彼方にあります。1998年は、金融の日本版ビッグバンが本格始動。2月に長野オリンピック開催、6月にはサッカー日本代表が初のワールドカップ出場を果たしました。ウインドウズ98やiMacが発売されたのもこの年でした。

さて、今年の夏には参院選挙が行われる予定です。陰陽五行説では、「壬」は生命の循環で言えば終わりの位置に近く、次の生命を育む準備の時期、土の下で芽が膨らんで土がぐんと盛り上がっている様子を意味すること。冬が厳しいほど春の芽吹は生命力に溢れる。新しい年はそうありたいと願います。



子どもたちの元気な様子を伝えるビデオに、目を細める入居者様

ビデオのお便り

敬老会は敬老の日になんだ行事。昨年は9月17日(金)に開催し、白寿・米寿・卒寿を迎えた入居者様お三方にはお祝いの品を贈りました。

記念品や特別な料理のほか、敬老会で入居者様が楽しみにされているのは、地域の認可保育所「遊・Wing」の子



どもたちとの交流です。2013年に初めての訪問を受けて以来、毎年の恒例交流行事となっています。

入館を制限したコロナ禍の一年は、思いがけずビデオレターと手作りのプレゼントをいただき、保育所でも大切な行事にしてくださいと、職員一同が感謝しました。

昨年も直接会うことは叶いませんでしたが、歌ったり踊ったりする元気な姿をビデオで拝見。かわいらしい折り紙のプレゼントも届き、入居者様お一人おひとりに手渡すことができました。

お礼の訪問

地域交流に力を入れているアウルコートにとっても、「遊・Wing」のみなさんは特別な存在。一方通行の交流が2年目となったことから、昨年は感謝の気持ちを直接伝えるため、武田施設長と阿知良職員が10月11日(月)に保育所を訪ねました。

子どもたちから訪問に対するお礼の言葉や歌で大歓迎を受けたふたりは、事前に練習を積



んだことが想像できて、またまた感激。プレゼントとして折り紙用の色紙セットを贈りました。訪問の様子は入居者様にもお伝えし、次の敬老会への期待をふくらませました。



「今年も会えたね」。世代を超えて地域に絆 あたたかな交流続く敬老会



アウルの四季彩々日記



●9/20(月・祝)

接戦で白熱、大運動会

今年も座ったまま参加できる種目で紅白戦。玉入れはカゴが入居者様に近づいていくスタイルで、夢中になるあまり転倒したりすることのないよう工夫。そのため点差が開かず接戦で、最終的には紅組が優勝を飾りました。

●10/27(水)

期日前の不在者投票

アウルコートは不在者投票を行える指定施設です。10月31日の衆議院選挙は、4日前に手元の見えない記入台を設け、職員が投票要領をご案内。事前に申し込みをされた13名の入居者様が、それぞれ大切な一票を投じました。



●10/30(土)

秋のミニコンサート

感染予防のため、今秋も芸達者な職員たちが歌と演奏を披露。ハロウィンを意識したいでたちのデュオで、演目はクラシックからポップスまで多彩な7曲。最後はみなさんで「もみじ」「リンゴの唄」など4曲を歌いました。



▼大歓迎を受けた武田施設長が、アウルを代表して子どもたちにお礼

